

全国初 家族限定ロゲイニング

第1回四日市ファミリーロゲイニング大会 2014年6月8日 三重県四日市市

西日本ではまだ知名度が低いロゲイニング。「家族の絆」を開催テーマに、全国初となる家族限定の大会が、四日市市教育委員会主催で開催された。

2014年6月8日 三重県四日市市
第1回四日市ファミリーロゲイニング大会

大会開催の目的

今に始まった話ではありませんが、子どもたちが外で遊ばなくなったことによる体力低下や家族間でのコミュニケーション不足が問題となっています。

四日市市では、人気急上昇していて、チームワークが重要なアウトドアスポーツであるロゲイニングに着目し、スポーツを通じて「家族の絆」を深めてもらおうと、家族限定の大会を開催することとしました。

また、工業都市のイメージが強い四日市ではありますが、鈴鹿山麓には茶畑が広がるロゲイニングに適したエリアがあり、地域の魅力の再発見にも繋がることも期待されました。



四日市の水沢地区は、四日市の軽井沢とも呼ばれる自然豊かな地域である。

家族が楽しめる大会

地図については、家族向けといっても一切手抜きはせず、三重県オリエンテーリング協会に委託し、正確なOマップを作成していただきました。また、小さい子どもの参加も見込まれることから、3時間の競技時間にしては多い44ヶ所のチェックポイント(CP)を設定し、よりたくさんのCPを回ってもらえるようにしました。また、地図上にトイレの表記も行いました。

それ以外にも、ご家族で楽しんでい

ただけよう様々な工夫をしました。

まず、クラス分けですが、通常の大会では家族クラスは一括りとなっていますが、本大会では年少者の年齢によって未就学児クラス、小学校低学年クラス、小学校中・高学年クラスの3クラスに分け、より近いレベルで競えるようにしました。

表彰も上位6チームまで賞状や地元の特産品を用意したほか、特別賞として飛び賞やブービー賞、ブービーメーカー賞まで用意し、より多くのチームに賞品を持って帰ってもらえるようにしました。

他には、地元の企業や個人に協力いただき、チェックポイントの5か所をおもてなしポイントとして、サービスが受けれるようにしました。牧場では食べるヨーグルト、和菓子屋では最中の試食、淹れ立てのコーヒーや冷茶が飲めるアトリエなど参加者に楽しんでもらえるようにしました。

また、競技終了時刻が1時と昼食の時間をまたぐことから、地元のボランティアサークルに、カレーライスと地元のお茶を使った水出し冷茶の振舞いを依頼しました。



参加者に大好評だった競技後のカレーライスと水出し冷茶の振舞い。

度の低さと、中学生以上1000円、小学生500円という参加料がニューススポーツとしては高かったかと反省しましたが、もう手遅れです。

そこは、教育委員会主催という強みを活かして、開催地区近隣の小学校全児童にチラシを配布し、その効果もあって最終的には67組の申し込みをいただき、あとは梅雨入り直後の天気を心配するのみとなりました。

家族参加全国最大の大会

気をもんだ当日の天気でしたが、祈りが通じたのか、絶好の曇りの天気。小さい子どものエントリーも多く、また参加料を当日徴収にしていたので、本当に来てくれるか心配でしたが、63組、214人のご家族に参加いただきました。一つの目標としていた、昨年の朝霧での大会の51組を上回り、家族の参加では全国最大のロゲイニング大会となりました。



市長(中央)、教育長(右端)が、スタートの時間まで出席され、開会式は盛り上がった。

大会は成功したのか?

さて、大会のほうですが、開会式にやや時間がかかってしまい、スタートが予定より5分遅れてしまいましたが、まずは全家族無事にスタートさせることができました。

地図を読むのが苦手という女性が率いる未就学児チームが1時間30分くらいで戻ってきた以外は、みな2時間30分過ぎたぐらいから、次々と戻ってきました。どの家族も汗をかいて疲れている様子ながらも、一日を楽しみ満足した表情がうかがえ、今までの苦労が報われる思いでした。

競技後には、家族同士でどういうルートを回ったか話し合ったり、結果速

難航した参加者の募集

大会の内容については、上記のとおり、ご家族に十分楽しんでいただけるよう準備しました。

あとは、馴染みのないスポーツであるロゲイニングをいかに周知し、どれだけの参加者を集めるかです。

大会名どおり、小学生以下を含む家族限定、定員80組で募集を開始しました。市の広報やホームページで周知を行い、新聞にも掲載されましたが、募集開始直後の反応は非常に厳しいものがありました。

ロゲイニングというスポーツの知名

報を見て一喜一憂する一般のロゲイニング大会と同じ光景が見られました。

また、招待選手として、参加してもらった谷川友太選手と菅谷裕志選手に、ルート解説をお願いしました。トップレベルの選手の話に興味深く真剣に聞いている子供たちの姿がとても印象的でした。



谷川・菅谷両選手は子供たちにとってヒーローだった。

この試みは、この大会において非常に成果があったと思っています。お二人にはこの紙面をお借りして、感謝申し上げます。

今回は、第1回大会ということもあり、運営面でいくつかの課題は残りましたが、大きなトラブルもなく、無事大会をひとまず成功という形で終了することができました。

アンケート結果

今後の大会運営に活かすべくアンケートを取り、未就学児を含め73%という多くの方から回答をいただきました。

大会に参加した感想は、「とても楽しかった・楽しかった」が92%、「楽しくなかった・あまり楽しくなかった」が1%と非常に高い満足度となりました。

また、ロゲイニング大会にまた参加したいかという問いには、「はい」が92%、「いいえ」が6%と今後の大会に向けて、期待の持てる結果となりました。

大会に参加した感想の中からいくつか紹介させていただきます。

- ・燃えました！家族と一緒に団結できました。(40代女性)
- ・みんなで声かけして、励ましあい、協力できて楽しかった。(30代女性)
- ・きれいな景色の中を子どもと一緒に汗をかけて最高。子どもと競技に参加できる競技は少ない。(30代男性)
- ・協力して、点数をとれたから(10歳未満男性)

その他、多くの方から、本大会の開催テーマである「家族の絆」が深まって良かったという内容の感想をいただきました。

今後に向けて

大会の様子はNHKでも放映されるなど、目新しいスポーツということでメディアにも注目されました。また、参加者の高い満足度からも、一定の成果はあったと思っています。

ただ、いい大会だった、楽しかったで終わってはもったいないと思います。今年度第2回大会も予定しています。これから、どういう形でロゲイニングを発展させていけるかが課題だと思っています。

結果(1位のみ)

招待チーム

① 菅谷川	1428点
小学校中・高学年クラス	
① Fukui-family	863点
小学校低学年クラス	
① 15オール	608点
未就学児クラス	
① セブンマウンテンズ	615点

(上田浩嗣)

